



11・12・17(土)
南NEWS NO51

おめでとう！！
少女 市民体育祭 優勝！！

◆予選リーグ (11/3 緑が丘小)
南八王子 対 愛宕 2-0 (前半0-0)
○テーマ 「ドリブル突破プラス・ワンツールのパスで突破」「シュートは丁寧に(ゴロを意識して)ゴールへ蹴りこむ」
得点者 片寄優さん(2)
この試合のめあては「ドリブル突破プラス・ワンツールのパスで突破」「シュートは丁寧に(ゴロを意識して)ゴールへ蹴りこむ」としました。前半、攻め込むのですがシュートが相手ゴールキーパーの好守に阻まれ得点できません。また強引なドリブル突破のため攻撃が単調になり後ろから後ろからの波状攻撃ができません

でした。また、選手同士のコミュニケーション・コーチングの声がないため、せっかく後ろから味方を追い越してフリーでもパスがとおりません。それどころかバックとゴールキーパーの連携の悪さからあわや失点という場面がありました。前々からいっている声のコミュニケーションがあればなんでもないことなのはどうもまだまだのようです。得点は片寄(優)さんが個人技でボールを持ち込みゴールキーパーとの1対1を冷静に決めて得点。2点目は味方のバックの裏へ出たボールを判断よく飛び出したゴールキーパーの安井さんがクリア。そのボールをフォワードの片寄(優)さんがコントロールしデフェンスをかわしシュート。全体をとおりして中盤でボールをよく支配していましたが、アイデアとシュートの決定力が足りません。攻撃はいつも一人で突破しようとしています。1対1の勝負は必要ですがそれだけではチャンスをつくれません。ワンツールで相手をかかわす。ポストに入ってボールをキープし後ろから上がってくる選手へパスとか、もっとバリエーションを増やさないと上のレベルではなかなか得点することは難しいと思います。またシュートもゴール前のクロスボールは触るだけで入るのに、大きく足を振りきって空振りしたり、クロスバーを越えてしまったりと自らチャンスをつぶしているように感じました。もっとチャンスを大事に、そして声・アイコンタクト・ゼスチャーでコミュニケーションをとって攻撃・守備とグラウンドを駆け回ろう。



(11/6 川町G)
南八王子 対 南大沢-B 1-0 (前半0-0)
○テーマ ①ボールコントロール(特にファーストタッチ) ②周りをしっかりと見てプレーすること ③ゴロのシュートを狙うこと
得点者 片寄優さん

この試合に勝てば市民大会決勝が見えてくる大切な試合でのテーマは基本に立ち返ることにしました。①ボールコントロール(特にファーストタッチ) ②周りをしっかりと見てプレーすること そして ③ゴロのシュートを狙うこと(力を抜くことではない) の3つです。予想通り、中盤での激しいボールの奪い合いが繰り返されますが、相手の得意としているショートパスは速い寄せでかなり防ぐことができました。ただし相手エースへのマークが外れて、何度かフリーの状態をボールを保持させる場面がありましたが、素早いアプローチで簡単に突破させずまたシュートコースもしっかりと抑えることができたため、決定的な場面を与えることはありませんでした。またテーマである視野の確保もそれなりにできて、うまくスペースを埋める守備ができていたようにも思えます。一方攻撃は、やはり片寄優さんの個人攻撃に頼らざるをえませんが、ボールを受け

ると突破という単調な攻撃が多く、相手の守備網にはまってしまいました。DFのマークが厳しい場合には「溜め」を作って、味方の上がり待つという攻撃もできるようにすれば、もっと効果的に攻められたと思います。何度かあった得点チャンスでは、シュートがキーパー正面だったり、当たり損ねだったり得点にはつながりませんでした。唯一の得点は後半5分。相手DFとキーパーが一瞬見せた譲り合いのスキを片寄優さんが見逃しませんでした。ボールを奪うとそのままゴールへ押し込んだ得点でした。そこからは相手エースにはキャプテンの漆間花さんがマークに入り自由にさせず、気仙さんが攻守のバランスを絶妙に取りながらプレーしますが、極端に守備的にならなかったことがよかったです。センターバックの小沢さんのミスのない手堅い守備も加わって、そのままほぼ危なげなく勝利を手にすることができました。

南八王子 対 MYFC 8-0 (前半2-0)
○テーマ ①ボールコントロール(特にファーストタッチ) ②周りをしっかりと見てプレーすること ③ゴロのシュートを狙うこと

得点者 気仙さん(3)、片寄優さん(2)、滝本さん、大塚さん、矢久保さん
この試合は、南大沢戦をベンチで応援してくれた選手を中心に臨みました。かなり苦戦するかと思いましたが、ボールへの寄せの速さと確実なボールキープにより高いボールポジションで試合を進めることができていました。ただし、まだ頭を上げてしっかり周りを見て判断するところまではできてなく、強引なドリブル突破が多いかと思いましたが、でも、むやみに蹴ってしまうような場面がほとんどなかったことはとても評価できます。一方、滝本さんや矢久保さんがサイドからの鋭い折り返し(プルバック)ボールをゴール前でしっかりと反応してシュート決めた場面などを見ていると、オフ・ザ・ボール時に自分がどこに行くべきなのかを、自分の目で見ながら判断できるようになってきた証明なのかもしれません。その他のみんなも伸び伸びと持ち味を發揮してくれましたが、この試合で最も目立っていたのは後半だけ出場の気仙さんだと思います。いつもはボランチで守備と攻撃の両面を担うチームの心臓的な役割でしたが、この試合ではワントップ。元々キックの精度も高く、ゴールゲッターの素質はあると思っていましたが、開始の5分だけであっという間のハットトリック。ボールを失わないドリブルの巧みさと視野の広さから生まれる判断の良いワンツールパス、そして浮くことの少ない正確で鋭いシュート力がその原動力です。今日の3つのテーマをお手本で示してくれたような活躍でした。さて、これでグループリーグ戦全勝(無失点というのもすごい!)で、目標の決勝戦進出です。油断することなく、今年度の初優勝をベストな試合で勝ち取ろう。

b y 飛田コーチ

市民体育祭 1年生 10月16日 中山小

○めあて 練習しているドリブルの技を全部使おう
南八王子0-0小宮 前半0-0 2pk1
前半・こうはんともボールの奪い合いでシュートチャンスもなく試合終了。PK戦で前川君、井上君、加々美くんの3人が蹴って2-1の勝利。

南八王子0-1シルク 前半0-0
先日の南招待試合での内容とは全く違う動きで、相手のドリブルをカットし、逆にドリブルで攻める全員攻撃と全員守備ができて嬉しかった。
最後に1点を取られてしまったがみんなよくGAMBAっていた。

○課題 練習している技を出し切る。

b y 鈴木コーチ

